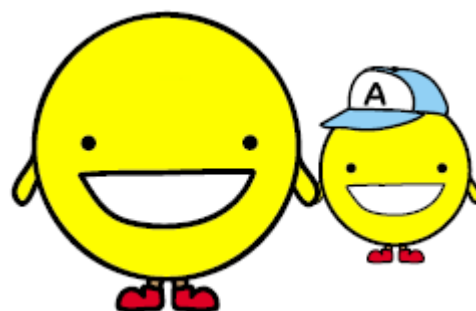


平成22年度第2回愛知県生活習慣病対策協議会に出された意見への対応について



健康長寿あいち
マスコットキャラクター
「エアフィー」

平成22年度第2回愛知県生活習慣病対策協議会に出された意見
への対応について

意見・要望	対 応
<p>「健康日本21」では一次予防の重視をうたっているが、二次予防、医療もきちんと考えていかないと達成できない。また、目標の構造自体が、分野別と疾病別とライフサイクル別と複雑になっている点もきちんと整理する必要がある。次期計画策定の際は留意していただきたい。</p>	<p>「健康日本あいち21計画」につきましては、その見直しに向け、昨年度より評価推進部会を開催し、最終評価に向けた作業を進めております。今後、国の次期計画策定に合わせて策定予定の新計画では、今年度末までに取りまとめられる評価結果や協議会で委員の皆様方からいただいた貴重なご意見を踏まえ、県民にわかりやすく、実効性のある計画を策定し、取り組みを進めてまいります。</p>
<p>アクションプランは健康福祉部の関係者だけでやっていたのではだめ、たばこ対策も規制を厳しくするようなドラステックな対策をしないと効果が上がらない。国に合わせるのではなく、愛知県が特徴的だということを示してほしい。</p>	
<p>健康政策に独自性のある市町村は、市長が熱心で街ぐるみで健康づくりに取り組んでいる。介護費や医療費を節約するといったことを考えたときに、健康づくりは先行投資なんだということを、トップがどう認識するかが大事である。</p>	
<p>平成20年度から特定健診・特定保健指導が開始され、国保・医療保険関係団体は健康づくりに大きく関与するようになった。次期健康増進計画の推進体制図には明記していただきたい。</p>	
<p>男性のがん患者の7割は60歳以上、女性が6割とかなり高齢化が進んでいる。がん対策そのものも高齢化に合わせた対策が必要である。</p>	<p>平成21年度の愛知県生活習慣関連調査の結果にて、65才以上では、既に多くの方が何らかの生活習慣病で医療機関を受診していることが推察されます。このため、医療機関等とも連携して、より一層がんに関する啓発やがん検診受診勧奨を継続的に行っていきたいと考えております。</p>
<p>この10年間自殺が多く、楽しみがないなど閉塞感ばかりが目立つ。愛知県こそが夢のある楽しい愛知県なんだという斬新な政策が打ち出せれば、自殺率も減るのではないかと思う。</p>	<p>新知事が就任し、日本一の愛知とするため、マニフェストにより様々な施策が打ち出されております。その中には、本県が従来から進めてきた「長生きしてよかったと思えるあいちづくり」の推進が掲げられておりますので、全庁での様々な施策を通じ、県民の方々に夢のある、質の高い生活を送ってもらえるように努めてまいります。</p>